

## 令和6年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団体等名	Orion× Students (おーえす！)
学生代表者氏名 (所属・学年)	細井 真加 (地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科 3 年)
責任教職員氏名	宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授 若園 雄志郎

1. 事業名	Orion School Festival (通称：オリフェス)
2. 実施時期	令和 6 年 10 月 14 日 (月)
3. 実施場所	宇都宮市オリオン通り商店街・ユニオン通り商店街 ※メイン会場はオリオンスクエアになります
4. 事業の内容等	<p>Orion× Students (以下”おーえす！”)は、昨年度 12 月の開催に引き続き、宇都宮市の商店街「オリオン通り」にて、3 度目の学生主体の合同学園祭イベントを実施した。 今年度は昨年よりも更に学生や地域住民との交流の機会の創造、関係性の質の向上や、SNS を通した商店街の魅力発信、運営スタッフである学生の成長の促進など、地域貢献に着目した活動を行うために、Orion School Festival (以下”オリフェス”)を開催するにあたって 3 つの目的を設けた。</p> <p>《開催目的》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリオンスクエアでのステージ発表及びブース出店による、学生の「表現の場」や「コミュニケーションの場」の創出。</li> <li>2 学生のみならず、地域の方々にも会場に足を運んでもらい、商店街の魅力や現状を知ってもらうことや、オリオン通りに対する愛着を持ってもらうきっかけを提供すること。</li> <li>3 来場者や出演者、出店者にアンケートを行うことで、オリオン通り商店街に訪れた人々の意見交換の場をつくり、商店街のさらなる発展につなげること。</li> </ol> <p>《概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ステージ発表 オリオンスクエアのステージを使用し、県内の学生が演奏や漫才などのパフォーマンスを実施。</li> <li>2 ブース出店および縁日出店 オリオンスクエア内および商店街アーケード内において、学生に商品販売等のブースを出店。また、親子連れをターゲットとした、ストラックアウト・お面づくり・お菓子釣りのブースをおーえす！として出店。</li> <li>3 オリフェスキャンペーン (ゴーストを探させ！) オリオン通り内の各店舗様にご協力いただき、オリフェスに来場してくださった方々が、商店街に継続して訪れてもらうための仕掛けとして、謎解きクイズを作成。おばけに仮装をしたメンバーにオリオン通り・ユニオン通りを歩いてもらい、来場者がそのメンバーを発見して謎解きを行うスタンプラリーの形式を採用。</li> </ol>

	<p>全てのスタンプを獲得した人の中から抽選で景品を配布。景品として協力店舗様の商品を使用した。</p> <p>4 アンケート シールを貼る形式にて、アンケートボードをご来場いただいた方に記入していただいた。また、来場者、出演者・出店者へ紙媒体や Google フォームを活用したアンケートも実施。</p> <p>5 取材活動 オリオン通り・ユニオン通りにある店舗に取材活動を行い、団体の Instagram にて情報発信を行った。取材では、事前に店主さんのオリオン通り・ユニオン通りの魅力や地域への想い、学生に向けてメッセージ、お店のおすすめ商品、お店へのこだわり、歴史、名前の由来、店主さんの願望を軸として、事前に店主さんが強みとしている内容を調査し、その内容を掘り下げていけるような質問項目を設けて、これらの回答を軸に記事を作成。</p>
<p>5. 事業の成果と今後の課題</p>	<p>当日のチラシ配布枚数の減少による調査から、昨年度と同様の約 1000 名の方にご来場いただいた。 以下、各企画ごとに成果と課題をまとめる。</p> <p>□ ステージ発表 ステージ発表では、県内で活躍する学生計 8 団体に出演いただいた。今年度は、バンドやビートボックスといった音楽系やチアリーディング等のダンス、お笑いライブ等、昨年よりも演目の幅を拡大した。 イベント後には、多くのステージ参加者の方から「また参加したい」といった感想をいただいた。昨年度に引き続き、オリオンスクエアステージの映像パネルに発表者の情報をリアルタイムで投影させるなどの工夫をすることで、出演者・観客共に満足していただける内容をつくりあげることができた。また、今年度は「宇都宮アート&amp;スポーツ専門学校」「宇都宮メディアアーツ専門学校」の学生・先生方に当日の運営スタッフとして参加していただいた。その結果、円滑なステージ運営を進行することができた。</p> <p>□ ブース出店 飲食の販売、アクセサリ販売、ワークショップの出店など、計 19 団体に協力をいただいた。今年度より、学生団体やサークルだけではなく、栃木県内の大人の方たちの団体にもご参加いただいた。 また、おーえす！主催の縁日をテーマとしたブース出店では、お子様連れの家族を中心に盛り上がり、来場者に楽しんでもらうとともに、学生が地域の人と交流できる良い場となった。 昨年度の課題であった各ブースの出店場所を把握しにくかった様子が見られたことについては、SNS でブース出店の配置情報を示したマップや出店者の情報をまとめた内容を投稿する等、事前のイベント情報発信を行った。 課題としては、各ブース出店の盛況具合に差があったことが挙げられる。オリオンスクエア付近のブースは、大盛況であったが、そこから離れていくと人が少なくなっていた。次年度は、各ブースの盛況具合に差が出ないように、よりブースの配置やレイアウトの改善を行う必要がある。</p> <p>□ オリフェスキャンペーン（ゴーストを探させ！）</p>

オリオンスクエアに訪れた人がアーケード内を歩きお店を訪れてもらうきっかけづくり、また謎解きの景品を通して、「参加者にオリオン通り内のお店に興味を持ってもらう・足を運んでもらうきっかけを醸成する」という目的を達成することができた。用意した景品 62 個と昨年度よりも大幅に増加した。また、今回は抽選式の配布としたため、数個ほど景品が残ってしまった。しかし、9割ほどの景品は来場者へ配布できたため、商店街内のお店を知ってもらう機会を醸成することができたと言えるだろう。

□ アンケート

オリオンスクエアに訪れた来場者を対象に、シールを貼る形式でアンケートをとった。来場者は宇都宮市民に限らず、市外から訪れる方も見受けられた。オリフェスを知ったきっかけでは、知り合いを通して知った人が最も多く、続いて **instagram** によって認知した人が多かった。また、紙媒体の記述式アンケートでは、今後のイベント要望として、食べ物等が中心となったイベント、クイズや謎解き、ゲームなどの参加型のイベントの声が多かった。本アンケートを通し、来場者と運営学生との交流、オリオン通りやおーえす！の活動が見直される機会となった。

□ 取材活動

今年度は、ユニオン通りの『今日、うどん』さん、オリオン通りの『Y's tea』さん、『misuzu』さんの3店舗に取材を行った。取材活動を通し、店主さんの考えや思いを知るとともに **Instagram** でその情報を発信することで、その思いをオリオン通りの現状の一つとして魅力の一つとして外部に伝えることができた。

課題として、魅力発信をより広範囲の人たちに届けていくことが挙げられる。現在は、見やすくするために投稿の画像を改善する・リーチ数の多い時間帯に投稿するといった考えられる工夫を実施している。

全体を通し、昨年の開催よりも、オリオン通り・ユニオン通りを巻き込んで、規模を拡大してオリフェスを開催することができた。来場者数の増加は達成できなかったものの、おーえす！としての目標「オリオン通りを活性化させる」ために、イベント以外の魅力発信として昨年は行えていなかった取材活動の実施ができた。また、オリフェスの開催目標である「学生の表現の場の創出」として、多くの団体を巻き込むとともに、専門を持つ学生にステージの司会を依頼することで、イベントの質の向上に繋がった。次年度以降も学生を中心とした質の高いイベントを提供するとともに、来場者数も増加させられるように励んでいきたい。全体の課題としては、今年度よりユニオン通りまで開催規模を拡大するために、実際に「ゴーストを探せ！」でスタッフを配置したが、距離があり、来場者の動きを広げることができなかったことが挙げられる。距離が離れていても行きたくなるような場所はどのような場所なのだろうかということに着目し、人を集める仕組みづくりを行う必要がある。

- (注) 1. 機関名・団体等名・学生代表者名・責任教職員氏名・事業名は、申請時と同様の内容を記入してください。
2. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
3. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
- ※団体関係者以外の写真を添付する場合は、個人が特定できないよう顔部分を隠す等の加工をしてください。
4. 報告書（添付書類を含まず）はA4判3枚以上5枚以内にまとめてください。
5. この報告書は、各関係機関等へ公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を予定しており、次年度以降の学生生活活動支援事業に役立てていきます。

## 支出明細書

No.	日付	項目	金額	備考
1	2024/7/2	クラフト封筒	110	
2	2024/7/3	軽くて薄いクリアホルダー	110	
3	2024/7/3	[証紙切手引受]第一種定型外(規格内)_2通	280	
4	2024/9/10	印刷代	200	
5	2024/9/10	印刷代	100	
6	2024/9/11	印刷代	500	
7	2024/9/11	印刷代	600	
8	2024/9/11	印刷代	720	
9	2024/9/11	栃木県交通安全協会_栃木県収入証紙代	2,300	
10	2024/10/9	粘着布テープ	110	
11	2024/10/9	平巻テープ	110	
12	2024/10/12	印刷代	50	
13	2024/10/13	印刷代	280	
14	2024/10/13	エアークラフトポンプ_2個、クラフト封筒_1個	330	
15	2024/10/14	ガーデンセット_10セット、イス@¥110×3脚、テント6張	24,530	
16	2024/10/15	オペレーター補助代	25,000	
17	2025/2/27	ノック式ラバークリップボード_2個	220	
18	2024/1/18	印刷代	2,600	
19	2024/1/18	印刷代	6,900	
20	2024/1/18	印刷代	60	
21	2024/1/18	印刷代	160	
計			65,270	

\* 別紙を使用して領収書(令和7年2月28日までのものに限る)を必ず添付してください。

\* 原則として領収書1枚につき1行とし、日付順に記載してください。